

たびする木馬

牡丹靖佳



ずっと遠いある国で、その木馬は生まれました。



名前はブラン。

毎週のように乗りにやってくる男の子が、名づけてくれました。

音楽がはじまると、まわりの景色がすうっと色の線にかわり、

まるで、せなかの男の子とふたり、空を飛んでいるかのようです。



いくつものきせつがすぎ、あんなに人気だったメリーゴーラウンドも、
乗る人がまばらになり、とうとう売られることになってしまいました。

名づけてくれた男の子は、
さいごにブランの首を、ぎゅっとだきしめてくれました。

にばしゃ
荷馬車でゴトゴト、となりの國へ。

となりの國の小さな遊園地には、今までのメリーゴーラウンドでは、大きすぎます。
ずっといっしょだった兄弟の木馬とは、はなればなれになってしまいました。





プランがさびしくて、毎日しづんだきもちで走っていると、
たのしかったわ、ありがとう。と、女の子がリボンをつけてくれました。

女の子の笑顔にプランは、うきたつような、ほこらしいきぶんになりました。